

研究懇談会活動報告

1) 構造系研究懇談会報告

回数	開催日	テーマ／講演者	参加人数	講演概要
1	6月14日	津波をかわすまちづくり／小林直明(海洋建築) プレキャストプレストレスト構造の超高層建物への適用 ／福井剛(海洋建築)	32名	海洋建築工学科に新しく着任した福井先生(PS三菱)と小林先生(大成建設)の紹介を兼ねた講演会を開催した。前職において取り組んできた業務・研究内容を中心に話題提供していただいた。また、講演会終了後懇親会を実施した。
2	7月13日	2016熊本地震災害速報-1／廣石修造(短期大学部)	35名	4月14日の午後9:26に発生した震度7の直下型地震(M _g 6.4)に端を発し、2日後の16日にはマグニチュード7.3の本震により建物の倒壊、地滑り等の地盤災害により多数の建物が倒壊した。益城町、南阿蘇村、大分湯布院等における被害の状況が紹介された。
3	9月15日	2016熊本地震災害速報-2 ①液化化による地盤変状と建物被害／山田雅一(建築) ②各種耐震補強した建物の被害状況／北嶋圭二(海洋建築) ③歴史的建造物(石橋)等の被害／中西三和(海洋建築)	43名	今回の地震被害の特徴は、二つの断層沿いの地盤変状と切り離しては語れないところがあります。また、耐震診断の結果、耐震補強した建物や、免制震建物など、実務設計者にとって関心のある被災状況が紹介された。
4	11月19日	国際医療福祉大学の施設工学部校舎の現場見学／設計・施工:ピーエス三菱	19名	本建物は、成田市の「公津の杜駅」前に立地する地上11階建ての整形な建物で、施工効率の良いプレキャストPC造で計画されています。柱、梁部材ともモルタルを介してRCおよびPC圧着接合しており、部材接合に梁所打ちコンクリートを一切用いていない点の特徴の建物でした。
5	12月13日	受賞記念講演会／大野博史(オーノJAPAN)	35名	本年度の日本建築学会作品選奨を受賞した大野博史氏(オーノJAPAN)の受賞記念講演会である。受賞作品は「チャイルド・ケム・ハウス」、意匠設計の担当は手塚貴晴、手塚由比氏である。講演会終了後懇親会を実施した。

2) 海洋系研究懇談会報告

回数	開催日	テーマ／講演者	参加人数	講演概要
1	6月30日	海洋プラットフォームの構造力学的特性と関連事故例/ 吉田宏一郎(東京大学名誉教授)	34名	海洋の利用・開発・保全には、その行為の実施場所が海洋であるため、何等かの基盤構造体が必要になる。本講では、この基盤構造体をプラットフォームと呼び、そのうちのバジ型、セミサブ型などの浮体を主たる対象とする。講義の前半において、このプラットフォームの合理的な計画・設計に欠かせない、構造静力学・動力学の一般的筋道を概説して頂きました。後半では、構造力学に関係する事故として、北海における、歴史的なセミサブの疲労破壊・転覆事故、3年前にインド洋で発生した大型コンテナ船の座屈崩壊・沈没事故および2年前におきた沖の鳥島沖の棧橋敷設工事中の転覆事故について解説して頂きました。
2	7月7日	海洋国家日本の現状と展望／三木基実(関西海上保安セミナー副会長)	37名	日本の輸出入貨物の99%以上が海上輸送に依存しており、日本人にとっては、海・港湾が無い生活を想像することができないほどです。更に、技術革新によりメタンハイドレート、海底熱水鉱床等の海洋権益が注目を集めていますが、国境離島、遠隔離島を始め領海・排他的接続水域等における海上警察権の現状がどうなっているのか?をお話して頂きました。
3	7月14日	海の食料・エネルギー利用のためのプラットフォーム/北澤大輔(東京大学生産技術研究所准教授)	52名	海洋で食料やエネルギーを生産するためには、目的に応じて安価で安全なプラットフォームを開発する必要があります。養殖のための生簀、給餌プラットフォームや、波エネルギーを吸収して乗り心地を向上した船などについて紹介して頂きました。
4	10月13日	子供が主役になれるまち横須賀市の魅力と活力を高める基本政策／樋口(横須賀市役所)	学生112名 教員:2名	農業・漁業とも活力に満ち、大規模商業施設や公営ギャンブル施設が立地し横須賀市。今も人口が増加傾向にある当市の勢いを継続するための基本政策を解説して頂きました。
5	10月27日	新しい環境建築への試みーアーバンフィジックスとの共生に向けてー／大槻達夫(大成建設)	学生113名 教員:2名	環境問題が叫ばれる近年、建築の世界も変化が求められている。アーバン・フィジックスの実例として室内外の環境に配慮した新しい建築を紹介して頂きました。
6	11月10日	建築構造設計の醍醐味と個人設計事務所経営／揚原茂雄(Structural Net)	学生112名 教員:3名	これまで構造設計者として手掛けてきた建築作品の紹介を通して、建築構造設計の醍醐味について語っていただくとともに、独立後の個人設計事務所経営についても解説していただきました。
7	11月17日	ゼネコンの視点からの建築構造設計／高橋孝二(西松建設)	学生118名 教員:2名	海洋建築工学科の卒業生の多くがゼネコンに就職しています。卒業後、ゼネコンとして成長していった経緯について紹介していただくとともに、ゼネコンの立場からの建築構造設計の魅力について話して頂きました。
8	11月24日	海洋コンサルタントとは／星上幸良(国際航業)	学生105名 教員:2名	海洋系のコンサルタント会社の大手である国際航業で行っている業務やその内容について、コンサルタントとは何をする会社であるかも含めて詳しく説明して頂きました。
9	12月1日	ICT企業の動向とICT分野での活躍可能性について／岸菜(ICT関連会社)	学生107名 教員:2名	ICTというと、情報を専門とした学部や学科の就職先と思いがちですが、ICT関連企業が活躍する分野は幅広く、多くの人材が求められています。ICT分野の動向と、海洋建築での学習を活かしたICT企業で活躍する可能性について話をさせていただきました。
10	12月8日	港湾・海岸分野における建設コンサルタント業務の位置づけ及び主な業務内容について／斎藤浩行(エコー)	学生112名 教員:2名	建設コンサルタント技術者としての様々な業務実績・経験から、後半、海岸分野を中心とした社会資本整備に向けた事業実施の流れ及び環境・計画部門の重要性について解説して頂きました。
11	12月15日	海洋建築工学科を卒業してからゼネコンに成長するまでの道のり／松下孝行(大成建設)	学生101名 教員:2名	海洋建築工学科の卒業生の多くがゼネコンに就職しています。卒業後、ゼネコンとして成長していった経緯について紹介していただき、学生諸君のキャリアデザインの参考になるお話をさせていただきました。
12	12月22日	新しい環境建築への試みーアーバンフィジックスとの共生に向けてー／長井厚(佐藤総合計画)	学生118名 教員:2名	環境問題が叫ばれる近年、建築の世界も変化が求められている。アーバン・フィジックスの実例として室内外の環境に配慮した新しい建築を紹介していただきました。
13	1月12日	海洋資源開発の技術ソリューション最前線／浅沼貴之(JOGMEC)	学生115名 教員:2名	メディアで目にする機会が非常に多くなり、各方面から注目を浴びている海洋の資源開発の中心的役割を担うJOGMECで、技術ソリューション事業にかかわる技術開発の最前線について話をさせていただきました。

3) 計画系研究懇談会報告

回数	開催日	テーマ／講演者	参加人数	講演概要
1	4月27日	オウケンカフェ#28／神本豊秋	27名	神本豊秋(再生コンサルタント／再生建築研究所／神本豊秋建築設計事務所／東京大学特任研究員)の活動を紹介します。
2	5月25日	オウケンカフェ#29／岸井大輔	31名	岸井大輔(劇作家)の活動を紹介します。
3	6月29日	オウケンカフェ#30／林盛	27名	林盛(伊東豊雄建築設計事務所)の活動を紹介します。
4	7月27日	オウケンカフェ#31／長島確	26名	長島確(ドラマトウルク／翻訳家)の活動を紹介します。
5	9月28日	オウケンカフェ#32／宮崎晃吉	50名	宮崎晃吉(建築家／HAGI STUDIO／HAGISO)の活動を紹介します。
6	10月26日	オウケンカフェ#33／山道拓人・千葉元生	46名	山道拓人・千葉元生(建築家／ツバメアーキテクト)の活動を紹介します。
7	11月30日	オウケンカフェ#34／土谷貞雄	53名	土谷貞雄(コンサルタント・建築家／株式会社貞雄代表)の活動を紹介します。
8	12月21日	オウケンカフェ#35／福井信行	24名	福井信行(株式会社ルーヴィス代表／カリアゲJAPAN)の活動を紹介します。

4) 材料施工系研究懇談会報告

回数	開催日	テーマ／講演者	参加人数	講演概要
1	5月14日	暑中期における受入れ時のコンクリート温度について 竹中工務店 岩清水 隆 高・中流動コンクリートの建築分野における活用 国土交通省 鹿毛 忠継	40名	温暖化の影響により、暑中期の受入れ時のコンクリート温度の上限値である35℃を守ることが困難となっている状況において、近畿地区の学会などの動きも含めて、その現状と対策についてご報告いただいた。 高・中流動コンクリートに関する研究および技術の変遷についてレビューするとともに、現在期待されている技術に関する研究・開発等の動向や今後の課題等について広くご紹介いただいた。
2	7月30日	研究講演会	36名	最近公表された研究成果を発表・紹介いただいた。 発表件数26件
3	12月17日	建築物の地下の防水 竹中工務店 岡本 肇 試験杭の利用の仕方 竹中工務店 土屋富男	38名	地中には水があり、地中構造物や地下室に水の浸入を防ぐためには防水が必要ですが、現状では建築主、設計者、施工者ともにその認識、理解が十分ではありません。そこで、建築の地下防水をわかりやすくご説明いただいた。 試験杭(試験施工を行う実際の杭)の利用の仕方について、ここでは、建築で一般に使われるアースドリル杭を中心に説明いただいた。
4	3月18日	笠井芳夫賞(優秀修士論文賞)表彰式 ならびに笠井芳夫賞受賞修士論文発表会 平成29年度定例会計画	33名	平成28年度笠井芳夫賞表彰式行い、受賞学生に修士論文を説明いただいた。 平成29年度の定例会の予定決めを行った。 笠井芳夫賞受賞者を囲み、その門出を祝った。

5) 環境技術系研究懇談会報告

回数	開催日	テーマ／講演者	参加人数	講演概要
1	10月27日	「福島の実状と課題」 講師: 浦部 智義 先生 (日本大学工学部建築学科 准教授)	46名	東日本大震災並びにその後の原発事故から5年が過ぎ、福島への関心も薄れつつあります。しかし、現在も福島では、仮設住宅で暮らしている避難者の方々が大勢います。 その現状とこれからの課題について、仮設住宅とそこから選択される住環境を中心に据えながら、整理して報告します。
2	12月8日	「水族館を知る － 水族館の水槽及び水質維持設備について」 講師: 菊池 篤史 先生 (大成設備株式会社 設計部)	51名	近年、水族館の新規オープンやリニューアルオープンなどが続き、話題になっております。今まで業務を通して関わる機会のあった水族館の事例を紹介しながら、水族館の水槽の水質を維持するための設備や展示のための設備について紹介します。